

# 小栗栖だより 前期学校評価より

## 前期「学校評価」を振り返って

ご家庭や地域の皆様からいただいたお声に、子どもたちと教職員のアンケート調査を加えて、相違点や共通点を元に考察を加え、これからの小栗栖教育の参考にさせていただきたいと考えています。今後とも学校に対して、忌憚のないご意見をお願いいたします。

■ そう思う

■ 大体そう思う

■ あまりそう思わない

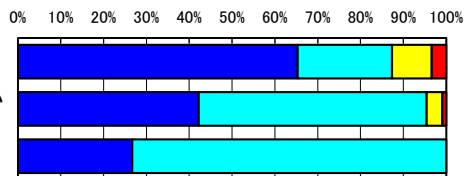
■ そう思わない

### ①楽しい学校

児童 学校は楽しいですか

保護者 子どもは毎日楽しく学校に通っている

教職員 子どもたちは学校で楽しく過ごしている



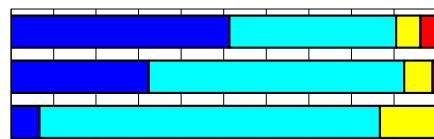
子ども達のアンケートでは、学校が楽しいと答える割合が、昨年より少し上昇しました。しかし、あまり楽しくない・楽しくないとの回答が12.7%である現状もあり、真摯に受け止めなければならないと考えています。保護者の方の願いに近づけるよう、担任だけでなく複数の教員が関わる取組等を今後進めます。教職員一同「楽しい学校」を目指して取組を進めていきます。

### ②友だち

児童 友だちと仲良く協力できますか

保護者 子どもは友達と仲良くできている

教職員 子どもたちは友だちと仲良く活動している



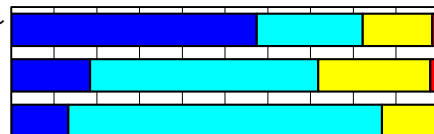
子どもたちにとって、仲良く過ごせているとの思いが90.6%で昨年度よりも少し減少しています。9.4%の子ども達が、あまりできていない、できていないと答えていますので、一人一人のよさを認め合い、友だちと仲良く協力することで達成感が感じられるような取組を進めたいと考えています。

### ③チャレンジ

児童 いろいろなことに挑戦(チャレンジ)していますか

保護者 子どもにいろいろなことに挑戦するように働きかけている

教職員 子どもたちがいろいろなことに挑戦していけるような機会を与えている



昨年度より自分の目標に向かってチャレンジしている子どもたちの割合が増え、うれしく思います。はじめからできないとあきらめずに、失敗を恐れず、果敢に挑戦していく中から学ぶことがたくさんあります。また、日々の頑張りを担任だけでなく「認める・ほめる」場面をつくるよう働きかけ、学校としての取組を進めています。ご家庭でも「チャレンジ」を合言葉に、子どもたちへの声かけをお願いします。

### ④一人一人を大切に

児童 先生は一人一人のことを大切にしてくれている

保護者 学校は子ども一人一人を大切にした教育活動を行っている

教職員 子ども一人一人をしっかり理解し、個に応じた指導ができています



本校は「一人一人を大切に」を教育目標の柱にしています。保護者からの評価は、昨年度同様にプラス評価が増え、子ども達からも92.2%近い子どもたちが大切にされているとの回答がありました。しかし、まだ不十分だと答えている児童もいますので、個々への対応について再度教職員で見直していきます。

### ⑤ものを大切に

児童 自分やみんなのものを大切にしていますか

保護者 子どもにものを大切にするように働きかけている

教職員 子どもたちにものを大切にしよう指導している



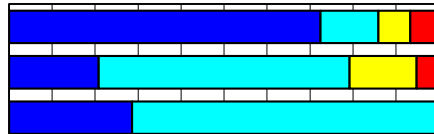
学校ではクラスごとに落とし物を回したり、懇談会等の時に忘れ物や落とし物を展示したりしていますが、ほとんどのものが持ち主の元に戻らないまま何ヶ月も残っています。自分のものだけでなく、地域にある公共物についても大切にしていこう、家庭・地域・学校が同じ歩調で、物を大切にすることを意識していく必要があると考えています。

### ⑥相談

児童 困ったことがあれば先生に相談していますか

保護者 子どものことについて先生に気軽に相談できる

教職員 子どもや保護者の思いを受け止め相談にのっている



先生に相談しにくいと感じている子どもたちの割合は、昨年度と比べてわずかに減少しましたが、教職員が感じている以上に相談しにくいと感じている子どもたちが多い現状があります。保護者や子どもたちからより信頼を得られるように、メッセージを敏感に受け止め、解決に向けての努力を重ねていきます。

### ⑦学力向上

児童 授業で学習したことが分かっていますか

保護者 子どもは学習内容が理解できていますか

教職員 子どもたちは基礎基本の学力が定着している



少しずつですが基礎基本に関する内容を中心に「できた」と感じる子どもたちが増え92.3%になりました。全校で実施している「漢字検定」「計算検定」へ向かう意識が定着してきたことや家庭学習への全校的な取組が要因だと捉えています。もちろん、学習内容は多種多様ですので、今後もより確かな学力を目指して取り組んでいきます。ご家庭での励ましをよろしくお願いします。

### ⑧授業研究

児童 先生はわかりやすく、ていねいに教えてくれますか

保護者 学校は子どもにわかりやすい授業を進めている

教職員 教材研究に努め一人一人に分かる授業を工夫している



算数科での少人数指導や支援担当教員による授業を充実させ、個に応じた学習で学力が定着するように進めています。タブレットPCの方に図書室開館をお手伝いいただき、読書の機会を増やしていただいています。今後も読書好きの子が増えるよう、読書内容の充実も目指した読書指導を続けていきたいと考えております。ご家庭でも子ども達が本に親しむ機会が増えるよう、働きかけをお願いします。

### ⑨読書

児童 自分から進んで本を読んでいますか

保護者 子どもに進んで本を読むよう働きかけている

教職員 本の楽しさに気づかせ、進んで本を読むよう指導している



朝の読書タイムの定着により、読書が好きな子が増えてきていますが、まだ16.1%の子ども達は進んで本を手取るまでには至っていないようです。中間休みにはPTA保護者ボランティアの方に図書室開館をお手伝いいただき、読書の機会を増やしていただいています。今後も読書好きの子が増えるよう、読書内容の充実も目指した読書指導を続けていきたいと考えております。ご家庭でも子ども達が本に親しむ機会が増えるよう、働きかけをお願いします。

## ⑩聞くこと・話すこと

児童 授業中、話をしっかり聞き、考えて自分の意見を言っていますか  
保護者 子どもは話をしっかり聞き、自分の意見を発表している  
教職員 子どもたちに「聞く・話す」という学習の基本姿勢を身につけさせている



## ⑪家庭学習

児童 家で宿題・予習・復習など勉強していますか  
保護者 子どもに、家で宿題・予習や復習などができるよう努めている  
教職員 子どもたちに適切な課題を与え家庭学習の定着を図っている



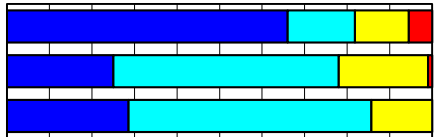
## ⑫生活習慣

児童 早ね・早おき・朝ごはんなど 規則正しい生活ができていますか  
保護者 子どもに早寝・早起き・朝ご飯などの基本的なしつけをしている  
教職員 子どもたちの生活習慣を向上させるような取組ができています



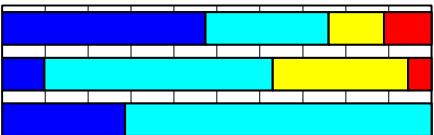
## ⑬あいさつ

児童 元気のよいあいさつができますか  
保護者 家庭で子どもたちに元気よくあいさつするよう声かけをしている  
教職員 子どもたちに挨拶の指導がしっかりできている



## ⑭言葉づかい

児童 正しい言葉づかいができていますか  
保護者 子どもに、時と場に応じた言葉遣いができるよう働きかけている  
教職員 子どもたちに、時と場に応じた言葉遣いができるよう指導している



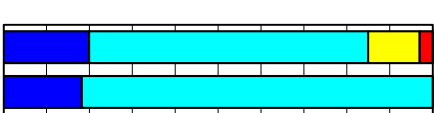
## ⑮行事への参加

保護者 学校行事やPTA行事、地域行事に積極的に参加している  
教職員 PTAや地域の行事などに進んで参加している



## ⑯環境整備

保護者 学校や教室は、教育的な環境がきちんと整備されている  
教職員 学校や教室の教育的な環境を整備している



学校生活・社会生活の中で大変重要な項目です。昨年度よりプラス評価が上昇したものの、この項目に自信が持てない子どもたちが約18.4%います。相手を大切に思うことが、しっかりと聞くことにつながるという人権意識を高めることや自分の考えを伝えることで、学習が深まるという実感を学習の中で育んでいきます。ご家庭の会話の中でも、集中して聞き、相手に伝わる話し方をするよう、お声かけをお願いします。

学校では、宿題の基本パターンを示し、全学年でやることを明確にしています。「やりきる子ども」が増えていますが、家庭学習の時間が相対的に短いという現状があります。学習内容を定着させるためにも、家庭での学習時間の確保が重要です。「すべきことはきちんとする」「家庭での学習習慣をつける」ためにも宿題をしっかりやりきる事が大切ですので、ご家庭の協力をよろしくお願いしま

生活向上を目指した取組では、「夜は10時までに寝る。」「朝は7時までに起きる。」「朝は、しっかりごはん（パン）とおかずをとる。」を特に力を入れて指導しています。不規則な生活習慣は、健全な発育を妨げます。学んだことを家庭で実践するためには、ご家族全員の協力が必要です。規則正しい生活を送り、将来も健康で過ごせる体の基盤作りができるようよろしくお願いします。

達成率は80%を超える結果となりましたが、地域の方からは登下校時のあいさつの声が小さく、できていないとお感じの方も多くおられることも事実です。元気なあいさつは、コミュニケーションの第一歩です。普段の生活の中で、あいさつが自然にできる子に育ててほしいものです。教職員も含め小栗栖小学校全員で挨拶がしっかりできるよう、引き続き取り組んでいきます。

昨年に比べ、子ども達の数値が上昇しています。また、子どもに働きかけていると回答された保護者の割合が59.8%と大幅に増えました。学校でも、時と場に応じた言葉遣いができるように、正しく敬語を使えるように、今後も気をつけて指導していきたいと思います。家庭での言葉遣いについても、ご家族みんなで意識していただき、ご協力をお願いします。

PTA活動や地域行事を通して子ども達を支えていただいています。サマーフェスタをはじめ楽しい行事を実施していただき、普段学校では見られない子どもたちの姿も見られます。教職員もできるだけ参加し、地域の方との交流に努めたいと考えています。併せて皆様のご参加・ご協力をお願いします。

環境整備については、80%以上の方に良い評価をいただきました。安全点検を徹底し、子ども達が安心して過ごせる環境整備を進めています。タブレットPCやドリルソフトの活用により子ども達の学びの支援も定着してきました。今後も学校の教育的な環境を整える取組を進めてまいります。

## 平成27年度 前期学校アンケート「自由記述欄」具体的なご意見について（抜粋）

- ☆家では気づかない子どもの良いところを伸ばしてくださるので、ありがたいです。先生にほめられてうれしかったとよく話してくれて、楽しく学校に通っています。給食も、何々のおかずがおいしかったと毎日報告してくれるので、栄養がとれていて、体の成長に良いことがよくわかります。ありがとうございます。
- ☆参観させてもらいましたが、積極的でない子にも気を配った授業をしてくださっていると感じました。懇談会でも学校生活の様子がよくわかり、いつも様子を見てくださっていることがわかりました。少しずつ子ども達の自立性が育つように手助けしていただいているようで、クラス全体が上手に成長していくようにと思っています。
- ☆「ものを大切にする」「時と場に応じた言葉づかい」とありましたが、学校だけでなく家でも問題があり、いくら言っても本人の意識が低いために出来ないのだと思います。「学校は子どもに分かりやすい授業をすすめている」は、重要ではありますが、何人もいるクラスで一人一人の学力や理解力も違うのですから、無理な場合もあると思います。
- ☆不安なく楽しく学校に通い、中学に向けて今の学習を大切に、落ち着いて学習できる機会を守ってほしいと思います。
- ☆マナーが悪い場合には、毅然とした態度をとるべきだと思います。
- ☆全ての項目が学校側だけでなく、友達の関係にしても授業内容の理解にしても、家庭の問題もあれば、本人の意識の問題もあると思います。
- ☆少人数学校の特徴やクラスの特徴をもっと出して活動していただくことが望ましいと思います。

地域の方々や学校運営協議会委員の方々からもアンケートにてご意見をいただきました。「中学生になったときに小栗栖小学校の卒業生としての誇りを見せてほしい」「挨拶がはっきりできるようになってほしい」というご意見や、「子どもが道路から周りを見ずに、飛び出してくることがある」「正門前に捨てられている吸い殻や空き缶が気になる」という交通安全やマナーの改善に対するご意見もいただきました。学校運営協議会でもアンケート結果をもとに協議し、「挨拶はコミュニケーションの第一歩。家でも学校でも、みんなが気持ち良く挨拶し合おう」「挨拶の指導における工夫も必要」というご意見をいただきました。また、「通学路を守る等の交通安全に対する意識を高める指導が重要」や「ルール等に対して徹底した取組を望む」「地域の方と子ども達の関わりが広がる取組を望む」というご意見もいただきました。

教職員一同、今後もより研鑽を積み、子どもたちの学力向上に結びつく授業や一人一人を大切にした学級経営・学校経営に努め、「いじめ問題」の未然防止にも取り組んでいきたいと思っています。そして、保護者・地域・学校がより密接に協力して子ども達に関わることが大切だと考えておりますので、話し合いをしたり、いろいろな活動をしたりして、共に子どもたちの健やかな成長を見守っていきたくて考えております。個々のご意見やご質問につきましては、今後